

夏の中体連三泗地区予選 組み合わせ決まる！

一途に燃えよ 西陵中！！

“いよいよの季節”がやってきました。「中学生のオリンピック」といわれる夏の中体連の大会が、下記の日程で行われます。3年生の皆さんは、この大会が最後となります。中学校での部活動の総仕上げとなります。心身ともにベストコンディションで大会に臨み、きちんと“区切り”をつけてほしいと思います。ご都合のつく保護者の方は、応援等よろしくお願いたします。

第 1 試合の対戦校等についてお知らせします

部活名	日時	対戦校	会場
野球	18日(土) 9:00	八風中学校	北勢中央公園野球場
サッカー	18日(土) 9:30	暁中学校	西朝明中学校 運動場
バレー	19日(日) 10:20	朝明中学校	楠緑地体育館
バスケ(女子)	18日(土) 10:20	塩浜中学校	朝日中学校 体育館
テニス(男)	18日(土) 9:15	富洲原中学校	三滝テニスコート
テニス(女)	18日(土) 9:15	三滝中学校	三滝テニスコート
テニス(個人戦)	19日(日)		三滝テニスコート

部活名	日時	大会名	会場
陸上競技	7月23日(木)	中学校通信陸上競技三重大会	県営総合陸上競技場(伊勢)
	8月24日(月)	中体連三泗地区予選大会	四日市中央緑地陸上競技場
水泳	7月18日(土)	三泗地区県予選大会	四日市霞ヶ浦プール
	8月18日(火)	新人大会	四日市霞ヶ浦プール
剣道(個人戦)	7月18日(土)	中体連三泗地区県予選大会	四日市中央緑地第2体育館

* 台風等で予定が変更された場合は、連絡網等でお知らせします。

「木村さんの読み聞かせ会」開催！

〔1年生；6月26日（金） 2年生；6月30日（火） 3年生；7月7日（火）〕

JIPC読書アドバイザーの木村由美子さんによる“読み聞かせ会”が終了しました。この1学期中、本や絵本の素晴らしさ、読み聞かせの素晴らしさを子どもたちに繰り返し紹介してきました。

「声（こえ）は、「肥」（こえ）」となります。心のこもった声をシャワーのように浴びることで、“心の肥”になります。落ち着いて話を聞く力は、人間形成の土台となり、学力向上につながります。

【2年；6月30日（火）】・・・絵本「たいせつなきみ」、「ヒワとゾウガメ」、「ともだち」

- 「ヒワとゾウガメ」は、自分も人間でたった1人になったらと考えると本当にさみしいなと思って、種類がちがう友達でも、1人いれば本当に心強いなと思いました。「たいせつなきみ」は、自分に自信がなくても、誰かの言っていることを信じれば、すごく強くなれるんだと思いました。「ともだち」は、本当の友だちは、ど～ゆ～ことなんだということを考えさせられました。本当にいい1時間だったなと思いました。
- 「たいせつなきみ」、「ヒワとゾウガメ」、「ともだち」。どれも感動でした。改めて友達が存在、大切さなどが感じられました。友達だからこそ言えることがあるな～と共感もしました。3つの本ともに、考えさせられることがたくさんありました。友達がいるからこそ、今の自分がいると感じたし、当たり前のことを気づかせてくれました。



【3年；7月7日（火）】・・・絵本「いのちをいただく」、「うそ」、「きつねとブドウ」

- この読み聞かせで、“命”そして“感謝”について深く知ることができた。私がこの3冊で好きだったのは、「きつねとブドウ」でした。“母は、強し”とは、このことなんだなと思った。お母さんは、子供のことを本当に大切に思っていると思うと、なんだか胸が熱くなりました。親をもっと大切にしたいと思いました。「いのちをいただく」でも、もっと色々なことを考えながら生きていかなきゃだめだと思いました。よかったです。
- きつねの本がとてもよかったです。自分で普通に読んだら、読み飛ばしてしまうような作者の思いとかを深く感じられてよかったです。木村さんの読み方も、とても上手で感動的だったと思いました。読み聞かせをしてもらって、絵本のメッセージ性に気づけたので、とてもよかったです。
- 絵がほとんどをしめていて、文も短く少ないけど、すごくたくさんの“作者のメッセージ”がつかまっていて、伝わってきました。一つ一つの絵本にそれぞれのメッセージがあり、絵本ってすごいなと思いました。中学生になっても、聞き入ってしまうし、短い文なので心に響きやすいのかなと思いました。自分で読むより木村さんに読んでもらうことで、絵を見て、言葉聞き、その本が伝えていることを考えることができるので、すごくいいと思います！





□

- 「ともだち」では、本当の友だちってなんだろうとか、自分が今、友だちと思っているのは、本当の友だちではないのだろうか、など、いろいろ考えさせられる絵本でした。「たいせつなきみ」は、絵なしで、聞くだけだったので、自然と絵が浮かび上がってきました。いずれの本良い本でした。読んでく



- 木村さんは、その本の気持を伝えてくださっている本は、どれも感動的で、生活につながっていて、考えさせられるなあと思いました。木村さんの感情のこもった読みで、涙が少しこみ上げてきました。
- 三冊とも、誰かが誰かを想うことや、人と人（ではないものもありますが）のつながりが描かれているなあと思いました。「たいせつなきみ」のお話から、他人の自分に対する評価に流されず、自分は自分でいいんだなあと思いました。
- 自分たちのことを本で読んでいてくれたことに気づいた。「人を一つのことでは決めるはいけない」と、今日、改めて分かった。小人のことを自分に例え、これからやっていきたい。

たのですが、聞いていると、頭が上がり、考えることも、いろいろ考えさせられて、ださった木村さんに感謝したい持ちをすべて表して、私たちにのだなあと思いました。今日の作者の伝えたいことが、私たち

